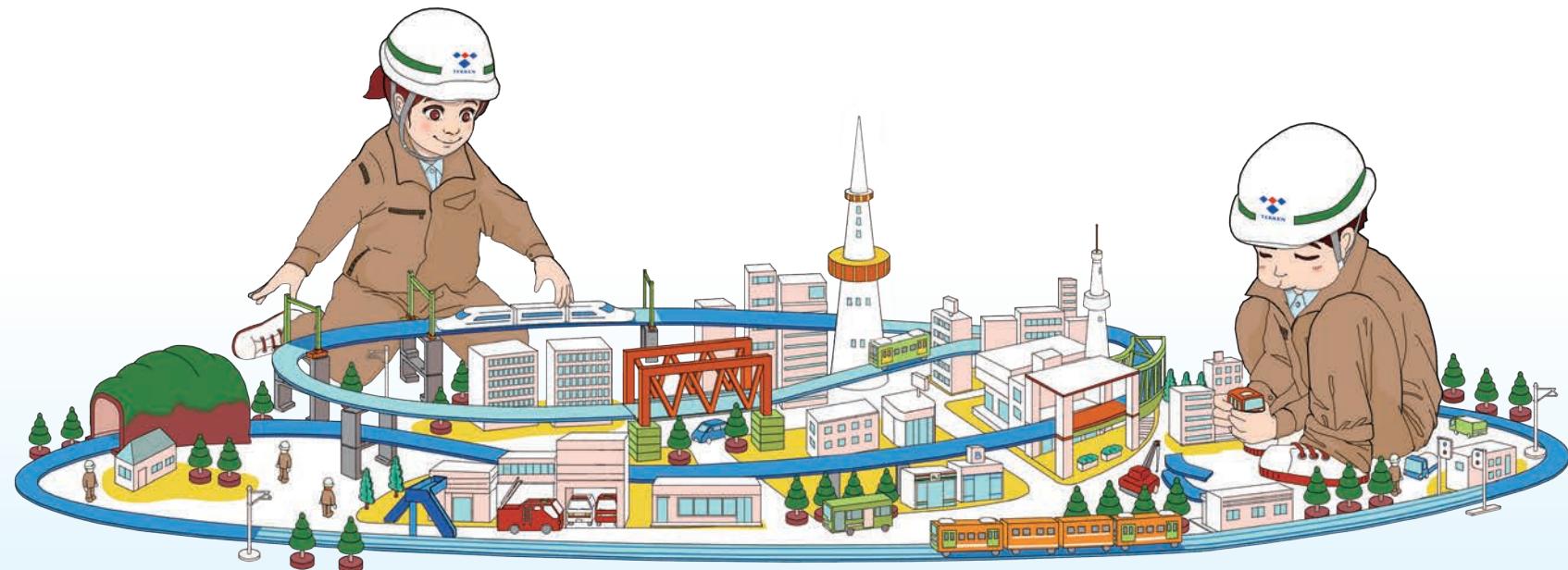


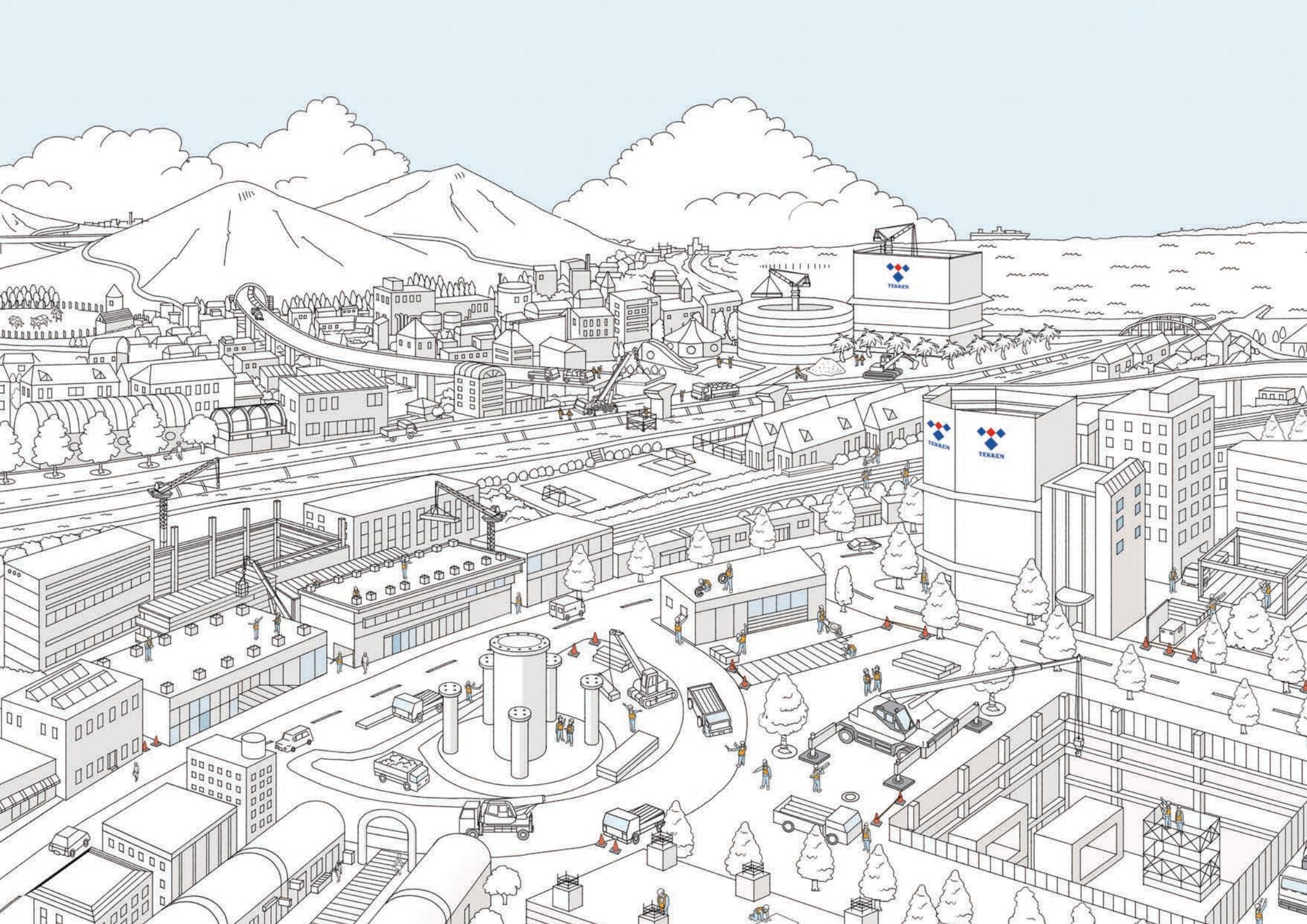


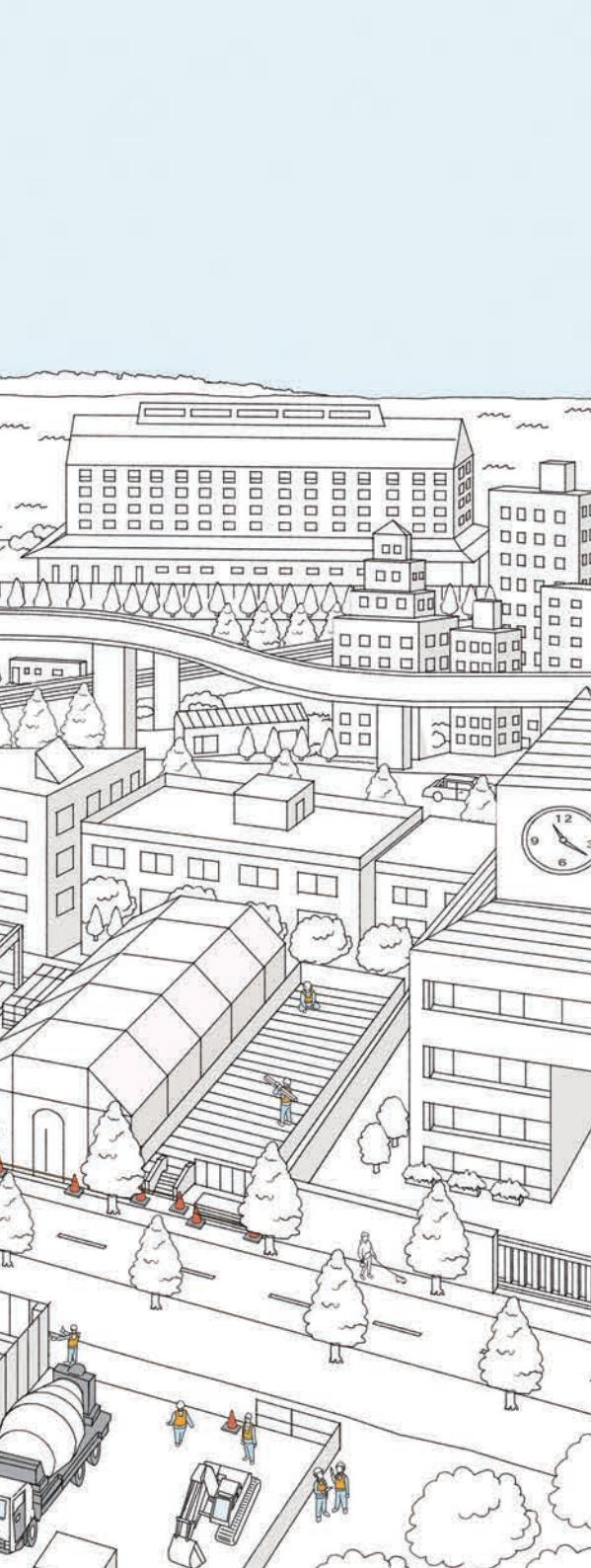
信用と技術をあなたと共に。

RECRUITING BOOK



鉄建建設株式会社





つながる

世界はオモシロイ。

「日本のためにつくられた会社」  
それが私たちのルーツです。

1944年、陸運輸送力確保と増強を目的に、鉄道建設専門の国策会社として鉄建建設がはじまりました。

鉄建建設は、先人たちから私たちへ地道に、着実に受け継がれたきた「信用と技術」で、街をつなぎ、人をつなぎました。そして今は世界をつなぐ「TEKKEN」として海外での事業も手掛けています。TEKKENはいつも人々の暮らしのそばに。そして、人々のしあわせをつなぐことが鉄建建設の使命でもあります。

# ユルギナイ、6つの事業領域。

鉄建建設は、土木事業・建築事業を中心に、多種多様に6つの事業を展開しています。中でも、創業以来の強みである鉄道部門では、海外での取り組みも着実に実績を積み重ねています。主軸となる6つの事業がつながり生み出す、鉄建建設の「ユルギナイ」力。あなたが活躍するフィールドは、無限です。

## 一般土木

Civil Engineering-General



### 創業時から培われた技術で 社会基盤整備に貢献する事業

土木部門は、創業時から数々の大きなプロジェクトに携わり技術と信頼を培ってきました。鉄道施設のトンネル、橋梁などの建設で得られた技術は、現在ではダムや道路、上下水道施設などのインフラ全般に展開し、安心、安全な社会基盤を支えています。

## 鉄道土木

Civil Engineering-Railways



### 全国の鉄道インフラを手掛ける 鉄建建設ならではの事業

土木の中でも鉄道に特化した部門では、主に高架橋、橋梁、トンネル、アンダーパス、駅のプラットホームなどの土木構造物の新設や改良工事などを行います。これまでに、各地の鉄道基盤整備や青函トンネル、リニア新幹線をはじめとした国家プロジェクトに参画しています。

## 一般建築

Architecture-General



### 蓄積したノウハウを様々に活用し、 快適で豊かな暮らしを支える事業

建築部門は、これまでの経験から培った技術を基に、ビルやマンション、ホテル、学校、医療福祉施設、商業施設など幅広く手掛けています。近年、デジタル技術やICTを活用した設計・施工プロセスの変革を推進し、環境に配慮した高品質な建物を提供し、次世代型の施設を建設しています。

## 鉄道建築

Architecture-Railways



### 鉄道工事のトップランナーとして 独自の技術や実績を有する事業

建築の中でも鉄道に特化した部門では、車両基地、高架下開発などといった鉄道に関連する施設の新設や改良工事を行っています。これまでに全国の駅舎や駅ビルを多数手がけ、旅客や貨物が走行する路線の安全管理が必要な工事も施工しています。そのため、工事を安全かつ効率的に行うための技術開発や教育訓練も行っています。

## 海外

Overseas Projects



### 日本で培ったインフラ整備技術で 海外の発展に貢献する事業

海外事業では、東南アジアを中心に、主に鉄道施設や高規格道路など、当社の技術力を活かした社会インフラ整備事業に取り組んでいます。また、現地企業との連携を深め、着実に海外での実績を重ねることで、海外工事体制の確立と強化を行い、海外においても信頼される企業をめざしています。

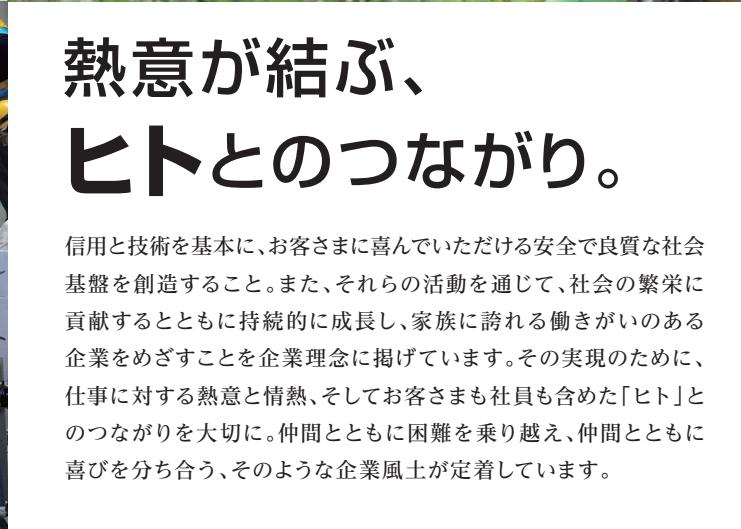
## 新事業

New Business



### 環境配慮や社会貢献を見据えた 未来志向の事業

2019年から本格的に始動した新事業推進室では、農業・再生可能エネルギー事業などに取り組んでいます。農業分野では観光農園の開園を、環境分野では東京工業大学と共同研究した木質バイオマスガス発電の実用化をめざしています。また、バイオマスプラスチック原料および家畜用飼料の生産事業など、新たな分野に積極的にチャレンジしています。



# 明日を支える若き5人の、熱きオモイ。



## 土木職

Civil Engineering

土木工事の施工管理を行います。一般道路、トンネル、橋梁、上下水道、河川護岸など、スケールの大きな案件が多く、また土木分野の技術力を高めるため研究開発に取り組むほか、現場の技術支援も行っています。

## 機電職

Electromechanical

土木工事に必要な機械設備などを計画的に導入し、効率良く工事を進める役割を担います。トンネル施工など土木の大規模現場で力を発揮するほか、AIやドローンを活用した情報化施工でも活躍が期待されています。

## 建築職

Architectural

駅舎、駅ビル、教育・医療施設など公共性の高い建築物から、オフィスビルやマンションまで、幅広い分野で建築工事のプロフェッショナルとして施工管理を担います。意匠・構造・設備の設計に携わる業務も含まれます。

## 建築設備職

Building Equipment Related

建築工事のうち、建物の電気、空調、給排水、衛生、防災・防犯など、設備に関する施工計画・保守管理を担います。幅広い専門知識で建物の安全性や快適性を高めています。近年、環境に対する要求は高まっており、建築設備はより欠かせない存在となっています。

## 事務職

General Administrative Work

工事全般に関わる施工事務管理、営業、総務、人事、経理、財務、法務など幅広い業務に携わります。現場では所長を補佐しながら工事全般を幅広くサポートしています。文系理系問わず、多分野の人材が会社を支えています。



社会に貢献できる  
というヨロコビ。

土  
Civil Engineering  
木

東京鉄道支店・土木(施工管理)

N.M

2019年入社 / 工学部 建設学科

❶ 鉄建建設を志望した理由は?

高校生くらいからモノづくりの仕事がしたいと考え、特に社会貢献性が高い土木や建築の仕事に就きたいと希望していました。建設会社は様々ありますが、鉄建建設の強みのひとつである「鉄道」というインフラに興味があったため、最終的に志望しました。

❷ 入社から現在まで

入社して最初に配属された、JR新宿駅改良工事の現場で4年目を迎えます。鉄建建設は、OB訪問も面接時もすごくアットホームな雰囲気で、自分の話をしっかり聞いてくれて好感を持ちました。入社後の現場でもその思いは変わりません。

❸ 一日のスケジュール

夜勤の場合は20時に出勤、20時半から夕礼・点呼。その後24時から線路閉鎖作業の手続き、立ち会い、施工箇所のチェック。事務所に帰ってきて朝5時まで資料づくりや次の作業の準備を行います。

❹ プライベートの過ごし方

買い物に行ったり、姉の子どもと遊んだりしています。大学時代にやっていたアルティメット(フリスビーを使ったチームスポーツ)を昔の仲間とプレーし、汗を流すこともあります。

# 会社の垣根を越えた現場全体がチーム。 そこには私が活躍できる場がある。



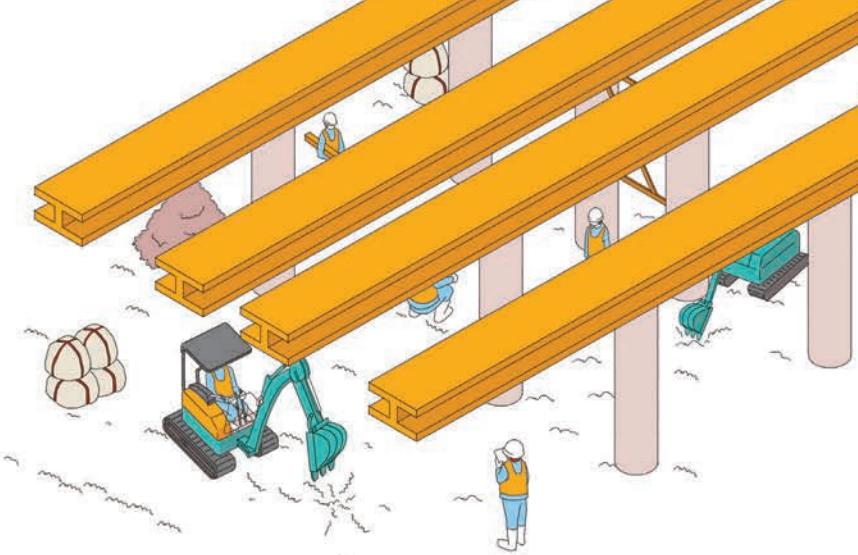
終電から初電までの限られた時間に  
作業を効率的に行う調整力が必要

入社してから今まで、日本を代表するターミナル駅であるJR新宿駅の改良工事に携わっています。線路や駅構内の工事なので、基本は終電から初電までの夜中の工事になります。施工管理として、施工箇所のチェックや資材の品質管理、報告書の作成などが日課ですが、施工計画や工程の打ち合わせを発注者であるJRと行ったり、他企業との調整も私が窓口となって行います。作業時間に制約があるため、時間の管理や作業の段取りも重要な仕事になります。



綿密なコミュニケーションとともに、  
細やかな気遣いやサポートが不可欠

現在、土木・建築全体で30人ほどの社員が携わっています。さらに現場に常駐している協力業者の社員が10人ほどいるため、作業所にいる人は会社の垣根を越えたひとつのチームといえます。日々積極的にコミュニケーションを取っているので、結束力もあります。安全な工事のためには細やかな気遣いやサポートが求められる場面が多くあり、意識して日々業務を行っています。「この駅は私がつくった」という誇りは一生のものだと思います。



自分が頑張って評価されることで、  
女性社員がさらに活躍できれば

鉄建建設も以前に比べると女性社員が増えてきており、女性が働きやすい環境が整ってきています。土木や建築の施工管理をはじめ、研究開発や技術支援など、やる気と能力さえあれば社内の様々な仕事に挑戦できます。私は土木や建築の現場が好きなので、現場で施工管理の仕事を極めたいと思っています。私が頑張って評価されることで、後輩の女性社員に良い道筋をつくることができたら良いなとも思います。

スケールの大きな現場で  
活躍できるミリョク。

機

Electromechanical

電

385M  
-0070

大阪支店・機電(施工管理)

Y.Y

2020年入社 / システム工学群 知能機械システム



■ 鉄建建設を志望した理由は?

当初、建設業への就職は検討していなかったのですが、大学で行われた会社説明会で、鉄建建設の機電部の担当者に詳しく話を聞いたことがきっかけとなりました。決め手は、自分の能力を発揮できる会社のような気がしたから。まさに「縁」でした。

■ 入社から現在まで

入社以来ずっと、配属先は中部縦貫自動車道のトンネル工事の現場です。現在は和泉トンネルを担当していますが、最初はその隣の工区である下山トンネルに携わっていました。宿舎は山間地にありますが、インターネット完備で快適です。配属当初から山奥の寂しさなどは感じたことがありません。

■ 一日のスケジュール

朝8時の朝礼後、現場での機械点検、施工管理を行います。午後は昼礼後、施工管理を続行。並行して書類準備をすることもあります。夕方に現場が閉まる前に最終チェックを行い、最後に翌日の段取り・準備をして1日の業務を終了します。

■ プライベートの過ごし方

趣味はPCいじりですが、自然の風景も好きで、緑の山々や満天の星空を眺めていると飽きません。また、近くには温泉やスキー場もあり、そこは山間部の現場ならではの恩恵です。

# ダイナミックな現場の裏には 小さな積み重ねがある。



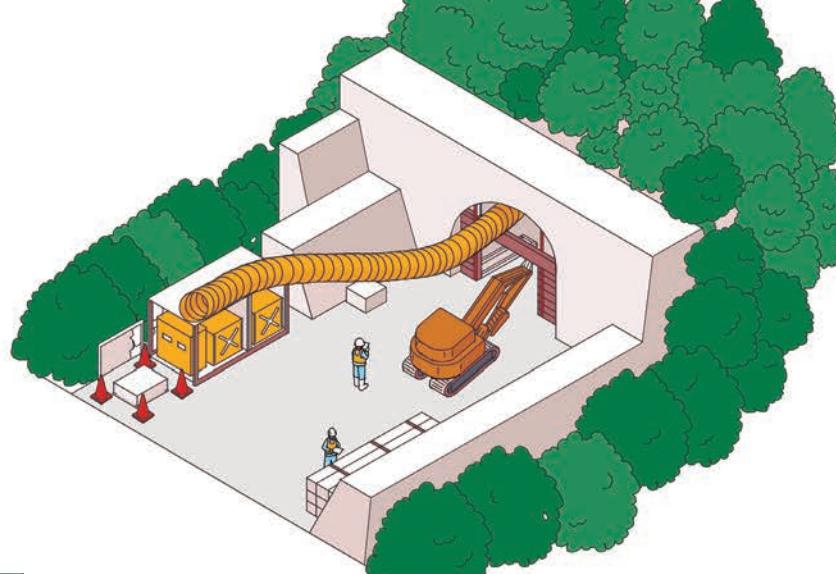
## 施工管理、マネジメントが主な仕事 トラブルにも素早く対処し工事を進める

土木の現場といっても直接自分で大きな機械を動かして作業をするのではなく、施工管理やマネジメントが主な仕事になります。具体的には現場の電気設備や重機などの点検や工程に合わせた機械の手配、各種書類作成、資材の手配を行います。また、機械類に何かトラブルがあれば、早く正確にその内容をメーカーに伝えてメンテナンスしてもらうなど、工程に支障がないよう進めることも機電職の仕事として重要です。



## 他の仕事では味わえない感動がある それには日々の準備と記録が大切

トンネル工事は、とてもダイナミックな事業です。それに関わること自体、他ではなかなか経験できないことであり、とても魅力を感じます。実際にトンネルが貫通した時の喜び、感動は言葉で表すことができません。機電職で大切なのは、毎日の準備をしっかりと整えることと、記録をきっちり残すことです。日々様々な事象の記録を残すことは、機械のトラブルを未然に防ぐことに繋がります。一見地味なことをコツコツとこなせる人が、この仕事に向いているかも知れません。



## 希望や目標に向かって邁進中 機電と土木、両方をこなせる社員へ

機電職としてキャリアをスタートし、日々勉強中です。私のような若手にも、重要な仕事を任せもらえることに、大きなやりがいを感じています。さらに経験を積み、機電職のみならず土木技術者として一人前になりたいと思っています。シールド工法による掘削工事を経験したり、一級土木施工管理士の資格取得をめざし、これからも様々な種類の山岳地のトンネル工事を担当していきたいです。

誇りとともに  
力タチを残す。

建  
築

Architectural



名古屋支店・建築(施工管理)

H.T

2020年入社 / 建築都市システム学専攻



† 鉄建建設を志望した理由は?

祖父の代からの家業で、実家は建築業を営んでいます。幼いころから「建物をつくる」ことを身近に感じる環境があり、自然と建設業界で働くことに興味を持ち、高校は建築系の学校へ進学しました。鉄建建設の大きな特徴は、一般建築のみならず鉄道に関する建築も行っているところです。その幅広さに魅力を感じ、志望しました。

† 入社から現在まで

1年目の配属は、新築ホテルの現場でした。トレーナーのサポートのもと、施工管理の「いろは」を学びながら実務を行いました。その後、マンションの現場を経て現在に至るまで、施工管理の仕事を続けています。

† 一日のスケジュール

7時半に出勤して、8時から現場で朝礼。午前中は前日の作業が図面通りに行われているか、現場内に問題がないかなどを確認します。午後は事務所で図面のチェックや資材などの発注をしたり、打ち合わせを行います。

† プライベートの過ごし方

最近新しく買ったバイクで、愛知県のみならず、岐阜県や静岡県などへ妻とツーリングに出かけ、各地のグルメを楽しんでいます。

# モノづくりを好きな人が やりがいや楽しさを感じられる仕事。



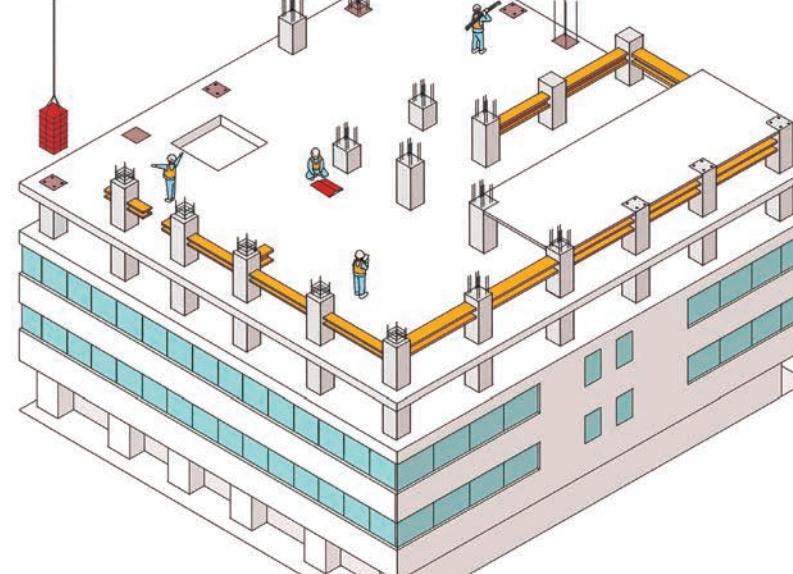
## 工事が安全かつスムーズに進むよう 様々な面からサポートする施工管理

今携わっている施工管理の仕事は、鉄筋・配筋のチェックなどの躯体管理や、内装の管理などを行います。また、工間に合わせて建物が設計図通りに施工されているか確認することも、日々の大切な仕事です。他にもお客様の窓口として定期的な会議の場での報告や変更点の確認などを行います。さらに協力業者との調整、資材の発注・管理、近隣の方と良好な関係を築くなど、工事に携わる全ての人々が、安全にスムーズに仕事ができるようサポートすることも、施工管理の大きな役割です。



## 竣工を迎えた時の達成感や感動は 建築の仕事に携わってこそ

何もなかった更地の状態からその工事に携わり、実際に竣工した姿に立ち会えることがこの仕事の醍醐味だと思います。実際にマンションの現場を担当し、竣工を迎えた時の達成感に工事期間中の様々な苦労を忘れてしまうほどでした。竣工式で発注者をはじめ、関係者の皆さんにねぎらいの言葉をかけていただいた時の感動は心に強く残っています。建築は、モノづくりが好きな人にとってやりがいや楽しさを感じられる仕事だと思いますので、是非チャレンジしてほしいです。



## 現場の最高責任者である所長として、 プロジェクトの指揮を執ることが目標

まだまだ若手なので、施工管理に関する様々なことを学び、多くの経験を積んでいくことが今の私がやるべきことだと思います。目標は、現場の最高責任者である所長として、ひとつのプロジェクトの指揮を執ることです。また、鉄建建設に入社したからには、インフラに関わるスケールの大きな仕事や、鉄道建築も経験したいと思います。そのためにも、できるだけ早く一級建築士や一級建築施工管理技士の資格を取得したいと思います。

# 設備全般に関われる ヤリガイ。

## 建築 設備

Building Equipment Related

## 設備

大阪支店・建築(設備施工管理)

T.M

2019年入社 / 設備環境デザイン学科



### ■ 鉄建建設を志望した理由は?

専門学校では建築設備の勉強をしていたので、当初はサブコンを就職先として考えていました。そんな時、鉄建建設のインターンシップの案内があり気軽に参加してみたところ、鉄建建設が手掛ける仕事の大きさや多彩さを知りました。この会社で自分を試してみたいという思いが強くなりました。

### ■ 入社から現在まで

入社後は、現在の大阪支店の建築部・設備グループに配属されました。私のトレーナーが担当していたマンションの現場に入り、施工管理の仕事を一から学びました。1年目の後半からは一人で現場を担当するようになり、現在に至ります。

### ■ 一日のスケジュール

8時15分から朝礼、その後現場の管理・チェック。10時に事務所へ戻り、翌日や翌々日の作業の段取り、材料の発注など。午後は現場へ行ったり、各種打ち合わせや資料の作成を行います。

### ■ プライベートの過ごし方

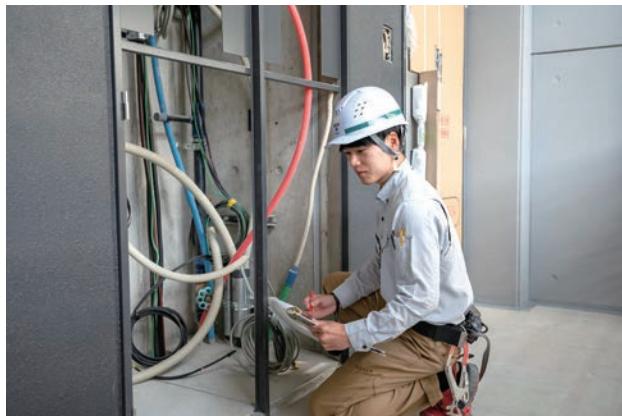
掃除が好きなので、休日の午前中はとにかく部屋の掃除をします。また、体を動かすことが好きなので、午後はスポーツジムへ行って筋トレしています。

# 何事も迅速に対応する。 それが私の譲れないこだわり。



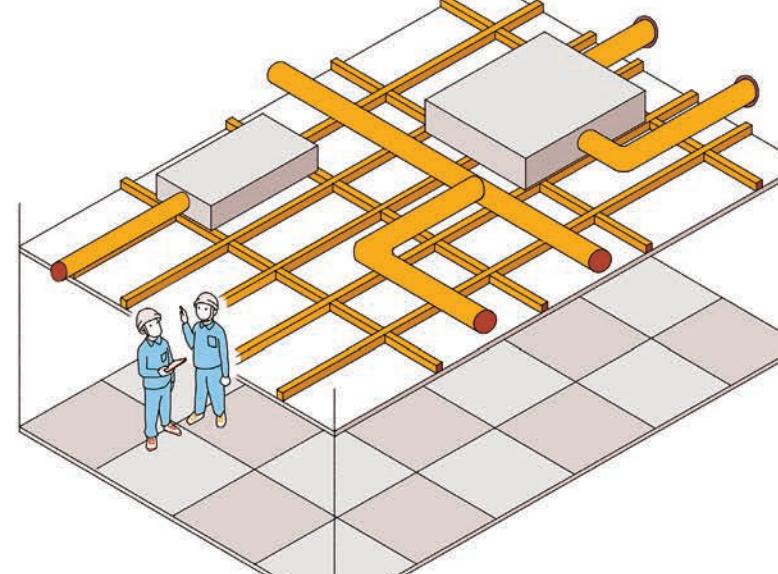
設備の施工管理に始まり、資料作成、行政との折衝など様々な業務を担当

現在は賃貸マンションの建設現場を担当しています。主な仕事は、給排水や空調、電気設備などが図面通りに施工されているかチェックすることですが、協力業者が作成した施工図の事前チェックや修正も行います。それ以外にも行政機関との打ち合わせ、お客さまとの定例会議の資料作成、会議の司会進行など様々な業務があります。日々の仕事で心掛けていることは、何事も迅速に対応することです。「後回しにはしない」は譲れないこだわりです。



設備をトータルに担当するやりがい  
「現場力」を鍛えられた1年目

建設会社によっては、電気設備のみを担当するなど、専門が分かれる場合があります。鉄建建設の場合は、給排水、空調、電気など設備をトータルに任せられる場合が多く、大変ですが大きなやりがいに繋がっています。1年目に、工程に影響が出るようなミスをしてしまったのですが「仕事にミスは付きもの。どうりカバーするのかまず考えなさい」と教えられ、厳しくも愛情を持って接してくれた先輩社員に感謝しています。この出来事で「現場力」が鍛えられました。



「設備のことなら」と言われるよう  
この仕事のエキスパートをめざしたい

建築の現場が好きなので、施工管理という仕事をできる限り続けてエキスパートになりたいです。めざすは「設備のことなら彼に聞け」と言われるようになることです。また図面を描くことも好きなので、将来的には設計部門や技術開発職にも興味があります。鉄建建設の魅力は、様々な仕事にチャレンジできる可能性が広いことです。これまでマンションの現場が多かったのですが、今後は官庁関係の仕事にも挑戦してみたいです。また、それらの仕事を通じて、多くの知識を身につけていきたいと思います。

# 工事を進めるために 必要不可欠なシゴト。



札幌支店・事務(工事事務)

K.M

2019年入社 / 法学部 法律学科

## ❶ 鉄建建設を志望した理由は?

将来どのような仕事に就こうかと考えた時に、ゼネコンのようなスケールの大きなモノづくりができる業界に興味を持ちました。その中でも、鉄建建設は鉄道関連やインフラ整備といった社会貢献度の高い事業も行っている点に惹かれました。文系出身でも、大きなプロジェクトに携わられるのではないかと思い志望しました。

## ❷ 入社から現在まで

最初の配属先は東京支店で、業務は東京メトロ四ツ谷駅改良工事の工事事務でした。その後、中目黒の東京高等地方裁判所庁舎や赤羽の総合病院の新築工事などを経て、現在の札幌支店へ配属となりました。業務に関しては一貫して工事事務を担当しています。

## ❸ 一日のスケジュール

朝少し早めに出社してその日の仕事の準備。8時半の始業後は資料作成や請求書の処理、予算作成などの業務を行います。週に2~3回は担当現場へ足を運び打ち合わせをし、近隣への説明などを行います。

## ❹ プライベートの過ごし方

休日は動画配信サービスで映画鑑賞を楽しんでいます。最近はサウナにはまっていて、ゆったり汗をかくことで心身ともにリフレッシュしています。

# 技術系社員だけではない。 現場の一員として欠かせない存在。



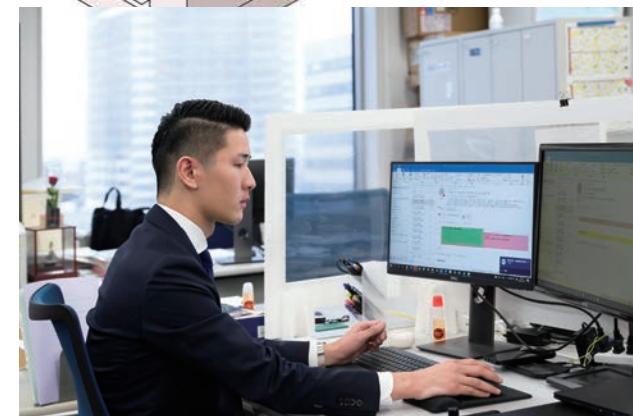
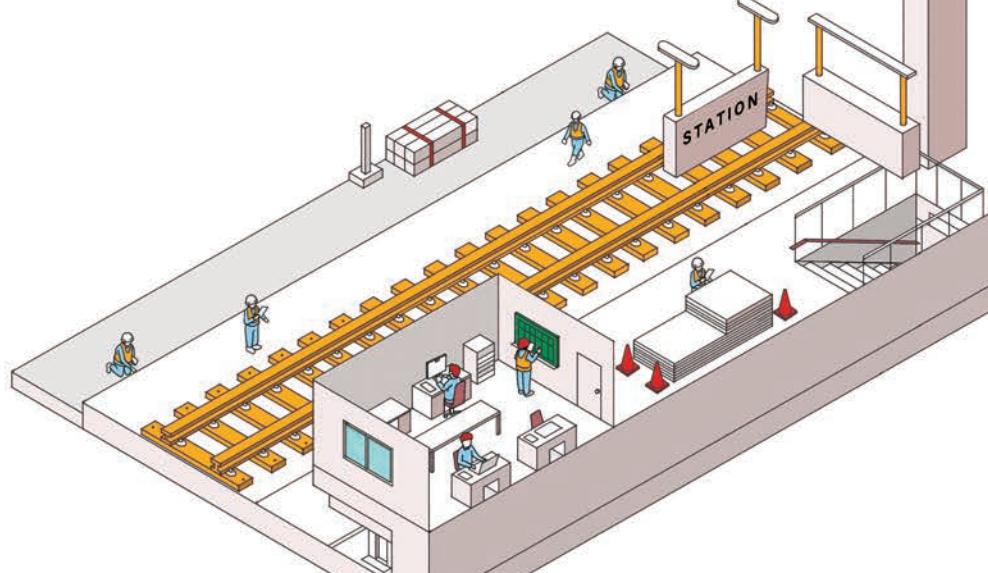
## 工事事務は工事現場における 「管理部門全般」を担う仕事

現在は、札幌市内の分譲マンションの建設現場、JR札幌駅の北海道新幹線の高架橋工事、支障物撤去工事等の工事を担当しています。主な仕事は、工事原価の試算、支出の管理、予算作成などです。その他、現場事務所の賃貸契約や近隣の方への説明など、様々な業務があります。工事事務は工事現場における「管理部門全般」であり、スムーズに工事を進めるために必要不可欠な仕事です。こうした仕事を今は一人で行っており、責任感とともにやりがいを感じています。



## 積極的なコミュニケーションにより 円滑な関係性を築くことが大切

工事事務は仕事が幅広いが故に、会社の仲間や協力業者の方、お客さま、近隣にお住まいの方など多くの人々と接する機会が多い仕事です。積極的なコミュニケーションにより円滑な関係性を築くことで工事の円滑な進捗に貢献し、実際に建物が完成した際には達成感を感じることができます。また、鉄建建設はマンション、ホテル、駅舎など多種多様な工事を行うため、現場をサポートすることでそれぞの専門的な知識を得ることができる点も、工事事務の魅力だと思います。



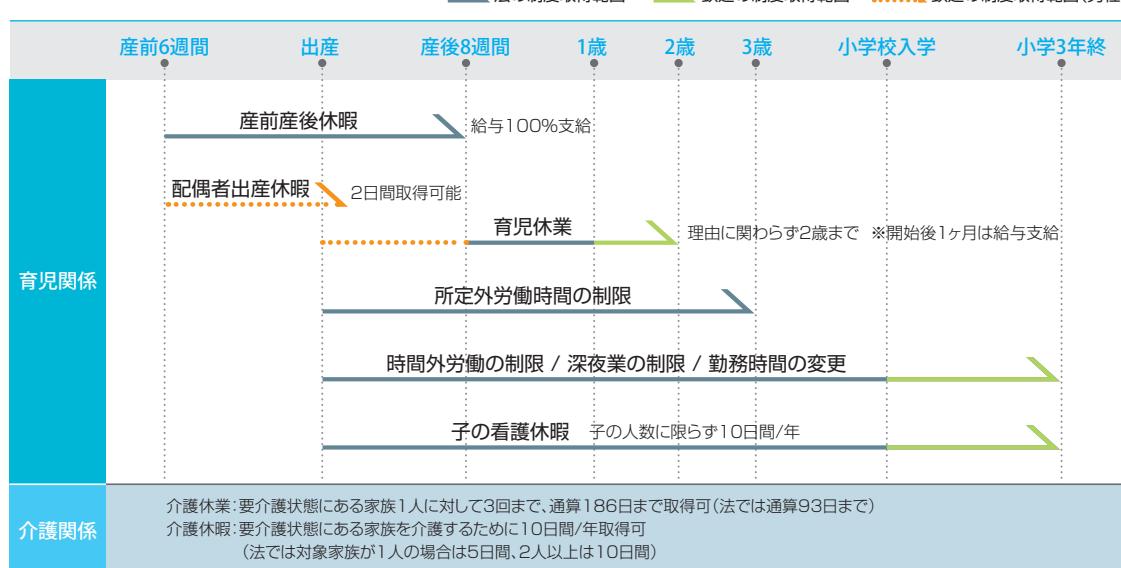
## 工事事務のプロを目指すとともに、 様々な資格にもチャレンジしたい

まだまだ工事事務としてのキャリアが浅いため、まずはこの仕事に精通したプロフェッショナルになることが今後の目標です。また、工事事務に役立つ資格として会社で推奨している「建設業経理士」「宅地建物取引士」「衛生管理者」などの資格も、実務に加えて積極的にチャレンジしていきたいと考えています。将来的には、会社の人事関係など管理部門に進んでみたいと思っています。

# アナタの人生とつながる、社内制度。



## 鉄建建設の両立支援制度



## 福利厚生

### ワークライフバランスと 働き方改革の推進

妊娠から出産、育児、または家族の介護などを機に、離職することなく働き続けることができるよう、社員のワークライフバランス実現のための環境づくりを進めています。社員が安心して育児や介護に向き合えるよう、短時間勤務の柔軟化や帰省旅費の支給等、法定を上回る沢山の制度を整えています。さらに、全社員向けにeラーニングを実施し、両立支援に関する周知啓発を行うなど、制度を利用しやすい風土づくりにも取り組んでいます。近年では、男性の育児休業取得率も大幅に向上しています。

### 長く安心して働ける 健全な職場環境を目指して

当社では、社員一人ひとりが持つ能力を最大限に発揮して、安心して多様な働き方ができる職場環境を実現するため、独身寮(各支店)、借上社宅制度、住宅手当、独身者帰省旅費の支給、フレックスタイム制、現場異動時休暇制度など、様々な福利厚生制度を設けています。

### ダイバーシティ& インクルージョンの推進

当社では女性社員の8割が20~30歳代であり、この世代の多くが現場で活躍しています。女性をはじめ、誰もが働きやすい職場環境を実現するために、2021年度に女性活躍推進ワーキンググループを立ち上げました。ワーキングでは、作業所設備の改善や女性特有の健康課題にも取り組んでいます。また、外国籍社員も増加しており、2022年3月には外国籍社員を対象とした意見交換会を開催し、悩みや課題を共有しました。さらに、外国籍社員と同じ部署で働く日本人社員向けのパンフレットを作成するなど、互いに理解するための環境づくりを行っています。



## 人材育成制度

### 個々のモチベーション向上を支援する多様な研修制度

当社では、物事に前向きに取り組み、自ら考え行動し問題を解決できる社員や、困難な状況にあっても目標を達成できる社員を育成するため、年代や職責に応じた研修のほか、職種別の専門研修やマネジメント研修を充実させています。また、職種ごとの人材育成ロードマップを定め、注力する分野や高い専門性が必要となる業務について、必須となる資格を明確化しています。将来を見据えた人材配置や計画的な人事ローテーションにより、若い世代から様々な経験を積ませることで、個人の能力向上や発掘を進めながら人材の育成を行っています。

### 入社年次に応じた階層別研修

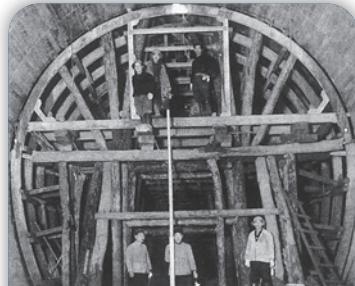
新入社員研修、新入社員フォロー研修、2年目、3年目、4年目、5年目（技術職のみ）、6年目（技術職のみ）、7年目研修と、若手社員の早期育成に向けた研修を計画的に行うことでスキルアップを図っています。また、これらの研修は主に当社保有の研修施設「建設技術総合センター」で実施し、屋内研修だけではなく屋外でより実践に近い教育を行うことで、安全に対する知識、技術、経験を身につけることができます。その他、新任主席研修、新任管理職研修や評価者研修などキャリアパスに応じたタイムリーな研修を実施し、社員のマネジメント能力の向上に取り組んでいます。



### 資格取得支援の充実

業務上必要な資格については、受験料や登録費用を会社で負担するとともに、取得時の奨励金と月々の資格手当を支給する制度があります。技術士や一级建築士など難関資格の受験者には、外部の講師による講習会や、論文・製図の添削、模試の実施と解説など、資格合格者の増加を目指し、支援を行っています。

# つねにミライをつないできた、TEKKEN。



1944年  
1944年2月1日、「鐵道建設興業株式会社」として設立。鉄道関連工事を主体とした社会基盤整備を行う会社として歩み始める。



1960年代  
東京オリンピック開催に向けた国家的事業、東海道新幹線建設工事に携わる。社名を鐵道建設興業株式会社から、「鉄建建設株式会社」へ変更。



1980年代  
1981年に歴代経常利益最高額84億円を、1983年に受注高2,000億円を達成。都市部の駅周辺再開発事業に多く参画する。



2000年代  
急速なIT化の流れに対応しながら新たな技術開発を推進。HEP&JES工法や、SWORD工法など、高度で革新的な技術の開発を行う。



2020年代  
SDGsやESG経営の重要性が高まる中、DX推進室やサステナビリティ推進室を新設。豊かで安全な持続可能な社会の実現に向けて、様々な取り組みを進める。

1944年

1960年代

1980年代

2000年代

2020年代

1950年代

1970年代

1990年代

2010年代

to the future

国鉄職員宿舎、鉄道病院などを特命工事として受注し、繁忙を極める。佐久間ダム建設に伴う難工事を早期完成させ、十河国鉄総裁より感謝状を授与される。



第一次オイルショックという時代背景の中においても、新幹線・高速道路・下水処理施設などの社会基盤整備工事を行い、着実に実績を積み上げる。



バブル経済からその後の不況と、情勢が変化する時代。恵比寿駅やレインボーブリッジなど、ランドマークとなる大規模構造物建設にも参画する。



東日本大震災など自然災害による大きな被害が相次ぎ、被災した鉄道や駅舎などの復旧工事や復興道路の整備など多くの工事を行う。



鉄建建設は、戦中・戦後、そして高度成長期を経てバブル経済、リーマンショック、自然災害やパンデミックなど、激動の日本を駆け抜けできました。どんな時代でもお客様の信用を大切にし、自らの技術と柔軟な発想を用いて、企業の成長と発展に貢献してきました。積み重ねてきた経験は大きな財産となり、次代を切り拓く力となっています。



## 成長することに意欲を持ち、 自ら行動できる人材を求めていきます

鉄建建設の最大の財産は「人材=社員」であり、「人づくりこそが会社成長の源」と考えています。社員一人ひとりが持つ能力をさらに高めるために、職種毎に定めた人材育成ロードマップに基づいた研修や職場でのOJTを通じてキャリアを積むことができ、個人としても成長を実感することができます。創設以来、受け継がれてきた「技術」を継承・発展させ、国内外のお客さまのご要望にお応えするために共に「モノづくり」を支えていただける人材を求めていきます。

私たちは新たな未来を創り上げていくために、これからも社是である「信用と技術」を基本として良質な社会基盤や豊かな生活空間を創造するために前進し続けます。採用活動を通じて澆刺としてやる気に満ちた皆さんと巡り合い、将来、共に歩むことができる日を楽しみにしています。

代表取締役社長  
伊藤 泰司

### 鉄建建設の求める人材

- ◎新しいことに挑戦し、高い目標意識と熱い情熱を持っている人。
- ◎様々な変化に適切に対応し、最良の選択をするために自ら考え自ら率先して行動できる人。
- ◎困難や課題に正面から向き合い、目標達成のために最後まで責任を持って物事に取り組む人。





世界はウツクシイ。



□完成作品

世界に広がる仕事の舞台。

- 本社
- 建設技術総合センター
- 札幌支店
- 東北支店
- 関越支店
- 北陸支店
- 東京支店
- 東京鉄道支店
- 東関東支店
- 横浜支店
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 広島支店
- 九州支店

海外事務所

- ハノイ
- ヤンゴン
- ブノンペン
- ダッカ



鉄建建設株式会社

管理本部 人事部

〒101-8366 東京都千代田区神田三崎町2-5-3

TEL: 03-3221-2149 / E-mail: [saiyou@tekken.co.jp](mailto:saiyou@tekken.co.jp)

<https://www.tekken.co.jp>

新卒採用サイト

